平成２２年度

楢葉町　長寿命化修繕計画

平成２３年３月

福　島　県　楢　葉　町

目　次

【様式１－1】
１．長寿命化修繕計画の目的・・ 1
２．長寿命化修繕計画の対象橋梁・・ 1
３．平成２２年度長寿命化修繕計画策定の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
４．健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
５．対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針・・・・ 3
６．長寿命化修繕計画による効果・・・ 3
７．対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期・・・・・・・・・ 4
８．部材別の修繕・架替え件数及び費用内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
９．計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者・・・・・・・ 5

１．長寿命化修繕計画の目的

１）背景

○楢葉町が管理する道路橋は、平成 23 年 3 月現在 53 橋あり、このうち、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は現在ないが、20 年後には約 40%に達する。30 年後には、この割合が約 70%に達する見込みで、急速に高齢化橋梁が増大する。

○電源地域である楢葉町は、多くの橋梁が電源三法の事業により 70～80 年代に集中して架けられた。これら同年代の橋梁は、比較的劣化が同じように進んでいるが、その中でも損傷が大きい橋梁を優先して計画的に修繕する必要がある。

○このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

２）目的

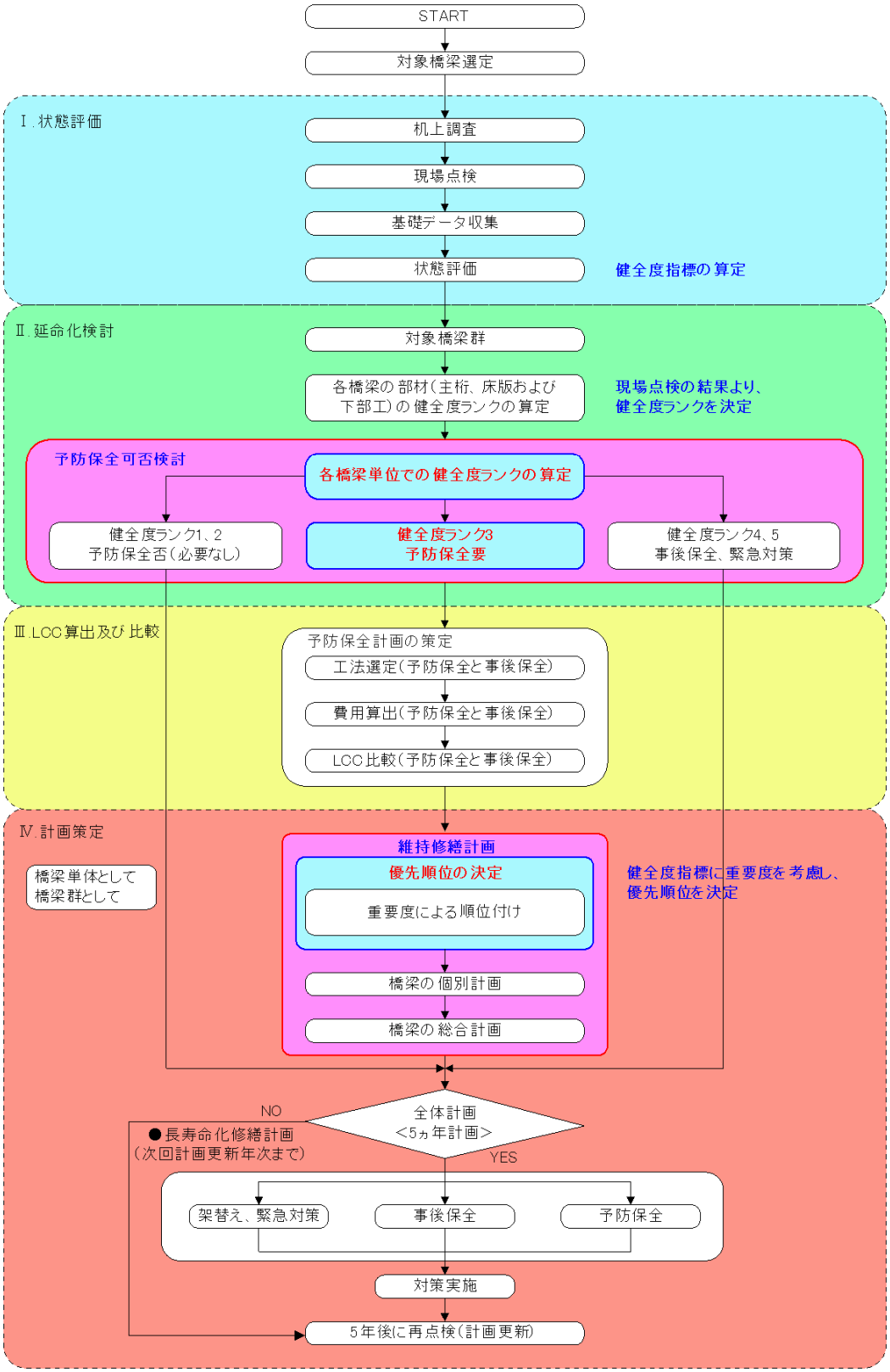
○道路交通の安全性を確保する上で、道路管理者は、これまでの事後的な対応から計画的かつ、予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減を図る。

２．長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一級町道	二級町道	その他	合 計
全管理橋梁数	(5) 5	(10) 10	(14) 38	(29) 53
うち計画の対象橋梁数	(5) 5	(10) 10	(14) 38	(29) 53
うちこれまでの計画策定橋梁数	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
うちＨ22 計画策定橋梁数	(5) 5	(10) 10	(14) 38	(29) 53

※上段（　）は橋長１４.５m以上の車道橋の数

３．平成 22 年度長寿命化修繕計画策定の流れ



４．健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

１）健全度の把握の基本的な方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに、福島県市町村橋梁点検マニュアルに基づいて定期的に実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。

２）日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施を徹底する。

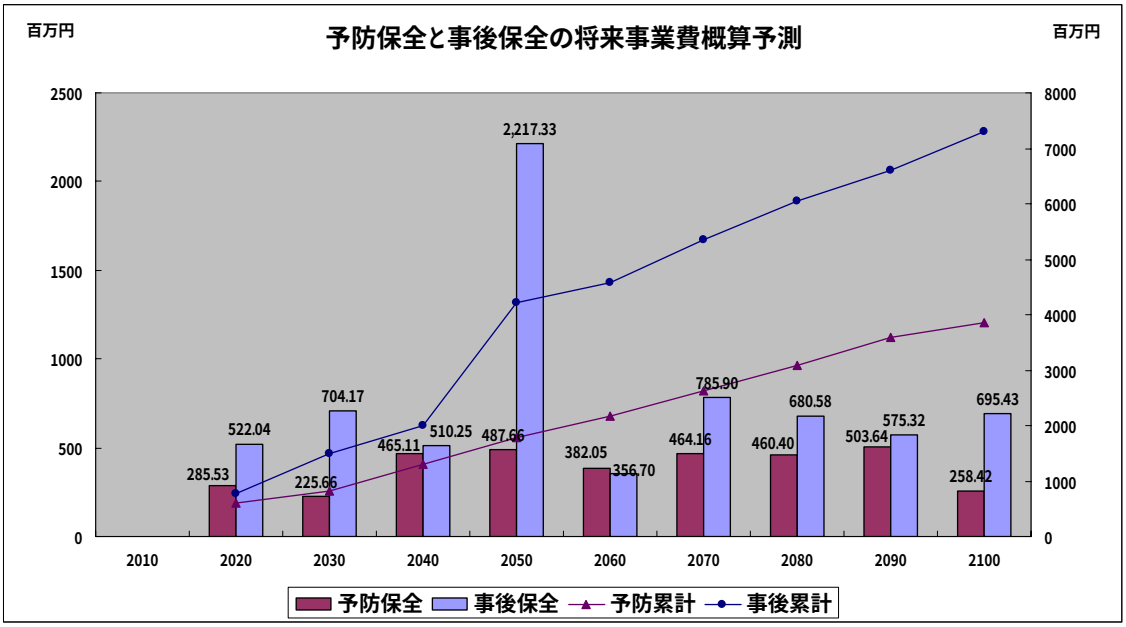
５．対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

予防的な修繕等の実施を徹底することにより、修繕・架替えに係る費用の低コスト化を図り、トータルとしてのライフサイクルコストの低減を目指す。

以下は、車道橋について、平成 20 年度及び 21 年度の点検結果を反映した検討結果を示す。

６．長寿命化修繕計画による効果

○修繕及び架替えに要する経費については、今後 90 年間で 73.09 億円→38.50 億円（34.59 億円の縮減）となり、約 5 割弱の縮減が見込まれる。



※上記経費の算出については、今後、橋梁の定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

７．対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

１）点検

○今年度計画を策定した 53 橋の次回点検時期は平成 26 年度、以後５年ごとに定期点検を継続的に実施する。

２）修繕又は架替え対策

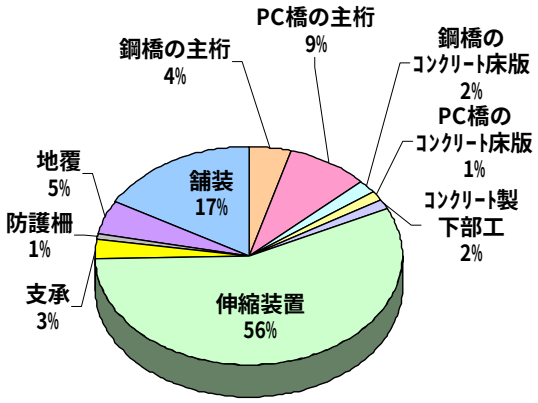
○今年度計画を策定した 53 橋のうち、今後 10 年間で修繕又は架替え対策を 11 橋で実施する。平成 25 年度については、長寿命化修繕計画の承認を得て予算確保した後、高田橋主桁補修工事などを実施予定。

※上記の修繕及び架替え対策橋梁数については、今後、定期点検を実施していく過程で確認される損傷に応じて、優先的に補修工事を要する場合などもあり、固定されるものではありません。

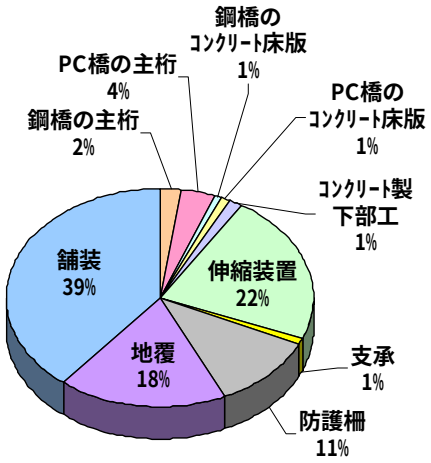
８．部材別の修繕・架替え件数及び費用内訳

今年度計画策定橋梁 53 橋のうち、今後 10 年間で修繕又は架替え対策を実施する予定の全ての橋梁を対象に、修繕内容を示した部材別の修繕・架替え件数及び費用内訳比率を示す。

部材別修繕費用内訳比率



部材別修繕件数内訳比率



９．計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

１）計画策定担当部署			
福島県双葉郡楢葉町　建設課　tel 0240-25-2111			
２）意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者			
日本大学工学部	教授	岩城　一郎	
福島工業高等専門学校	教授	根岸　嘉和	（五十音順）